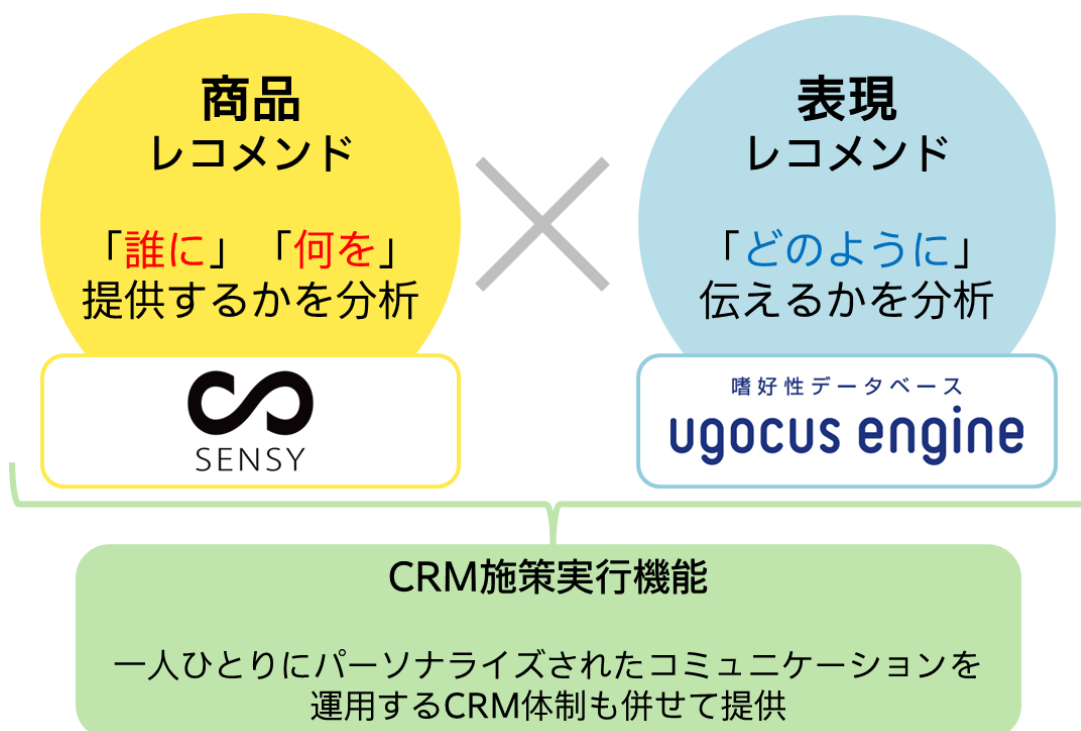


一人ひとりに最適な商品・表現を提案する コンテンツ・パーソナライゼーションエンジンの開発に着手 AIベンチャーのカラフル・ボードと共同開発

デジタルハイブリッドのトッパン・フォームズ株式会社（以下トッパンフォームズ）は、感性を学習する人工知能（AI）開発を手掛けるカラフル・ボード株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：渡辺祐樹、以下カラフル・ボード）と共同で個客（生活者）一人ひとりに対してパーソナライズされた提案を可能にする「コンテンツ・パーソナライゼーションエンジン」の開発に着手します。2017年10月からのサービス提供を予定し、販売面でも提携を行います。

新たに開発するコンテンツ・パーソナライゼーションエンジンは、個客に対して「誰に」や「何を」を提案するかという「商品レコメンド機能」に加えて「どのように」を提案する「表現レコメンド機能」を組み合わせることで、個客一人ひとりに対してパーソナライズされたより具体的な提案を可能にします。「商品レコメンド機能」についてはカラフル・ボードが保有する一人ひとりの感性を学習するパーソナル人工知能「SENSY（センシー）」の技術、「表現レコメンド機能」についてはトッパンフォームズが保有する独自のデザイン嗜好性データベース「Ugocus Engine（ウゴカス エンジン）」を活用して開発をすることで、両社の強みを融合させた新たな「コンテンツ・パーソナライゼーションエンジン」を構築していきます。



【今後の展開】

トッパンフォームズでは、今回開発する「コンテンツ・パーソナライゼーションエンジン」を活用したサービスの提供と合わせて、データサイエンティストとシステムが一体となった支援体制を構築し、企業の CRM プロセス全体を受託するサービスも同時に提供します。企業が抱える分析業務などの負荷をデータマート構築や分析レポートの自動化によって軽減し、マーケティングオートメーション（MA）ツールと連携しながら、ダイレクトメール（DM）や E メール、ショートメッセージサービス（SMS）、LINE などのメッセージングアプリといったさまざまなチャネルを活用したマルチアウトプットの個客コミュニケーションを実現します。

トッパンフォームズは、17 年 4 月より「コンテンツ・パーソナライゼーションエンジン」を活用したサービスのテスト販売を開始。CRM 支援まで含めたサービス全体で 5 年間で 15 億円の売り上げを目指します。

以上

- ※ 「Ugocus」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。
- ※ 「デジタルハイブリッド」は、トッパン・フォームズ株式会社にて、商標登録出願中です。
- ※ その他記載された製品名等は、各社の登録商標あるいは商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 広報部 TEL:03-6253-5730

【参考情報】**■カラフル・ボード株式会社について**

社 名：カラフル・ボード株式会社

本社所在地：東京都渋谷区渋谷一丁目-8-7 第 27SY ビル 3F-B

代 表 者：代表取締役 CEO 渡辺 祐樹

設 立：2011 年 11 月

事 業 内 容：人工知能開発事業、インターネットメディア事業

U R L：<http://www.colorful-board.com/>

■人工知能「SENSY (センシー)」について

人工知能「SENSY (センシー)」とは、慶應義塾大学発 AI ベンチャーであるカラフル・ボードが開発する、感性を学習するパーソナル人工知能。「すべての人々に、人生が変わる出会いを。」をビジョンとして、1人1台の人工知能を持つ社会の実現を目指しています。画像・テキスト・楽曲・動画・味覚物質・行動ログなどのインプットデータを画像解析、自然言語処理などのディープラーニングにより、ユーザーの嗜好性を解析します。2014年11月にファッションアプリとして「SENSY」をリリース、その後、ファッション分野にて、店頭接客サービス、EC接客サービス、パーソナライズDM等、「SENSY」を活用したサービスを展開。2016年7月には、「食」の分野でも味覚を解析する人工知能として、サービスを展開するなどライフスタイル全般でのサービス展開を目指しています。

U R L：<http://sensy.jp>

■「Ugocus Engine (ウゴカス エンジン)」について

「Ugocus Engine (ウゴカス エンジン)」とは、トッパンフォームズが保有する独自のデザイン嗜好性データベースです。「ウゴカス エンジン」は、個客をデザインの嗜好性別に15のクラスターに分類し、クラスターごとに最適なデザインテイスト、レイアウト、キャッチコピーなどの提案を可能にしています。また紙・Web・スマートフォンなど企業と個客のタッチポイントにおいて、直感的に心地良く感じるコミュニケーションの実現を目指して開発されており、金融機関や製造業などのお客さまに活用されています。